

事務局からのお知らせ

今年も国際音楽祭ヤング・プラハを無事終えることが出来ました。ご支援下さいました方々、運営に携わりご協力下さいました方々、皆様の熱い応援があつてのことと心から御礼申し上げます。この音楽祭が始まって今年で 26 回目となりました。日本から招待されプラハで演奏されたソリストに限っても、参加者は 100 名を超え、合唱は 4 団体、オーケストラは 3 団体を数えます。

毎年、春になるとヤング・プラハの運営をつかさどるチェコと日本の仲間達は活動を開始します。演奏者を選び、招待し、選曲し、プログラムを固め、会場を確保し、日程を作り、支援者、関係者の方々に今年もとお願いに上がり、変わらぬ善意とご支援を頂いて音楽祭が開催される、、、そして 26 年、よく続けられたものと不思議な気持ちもいたします。

来年はさらに活動を充実させるべく新しい企画を加えてみたく考えております。日本のフレンズ会員の皆様にプラハにお越しいただき国際音楽祭ヤング・プラハの本祭を楽しんでいただくことです。企画が纏まりましたらご案内を差し上げます。出演する演奏家達と一緒にプラハや各地で開かれるコンサートと美しい秋のチェコをお楽しみいただける素敵なツアーをご案内できればと思っております。



プラハ城



プラハの街並み

ヤング・プラハ・フレンズのご案内

「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。

ヤング・プラハを経験した若い演奏家たちは、ヴァイオリンの神尾真由子(2001年参加)、ピアノの上原彩子(2002年参加)、ピアノのジュゼッペ・アンドロロ(2005年参加)、チェコの宮田大(2011年参加)をはじめ、世界の名だたるコンクールでも活躍し、ヤング・プラハでの経験を糧にますます芸術の高みを目指しています。

フレンズの種類	年会費(4~3月)
個人会員	一口 10,000円
家族会員(個人会員のご家族)	一口 5,000円
法人会員	一口 30,000円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者)	3,000円以上 (但し出演年から3年間 は無料)

音楽祭は非営利団体として日本・チェコ両国の企業メセナと文化庁の支援、そして実行委員の献身的努力によって運営され、1992 年より1 年も休まずに続けてまいりましたことは、奇跡といって過言ではありません。しかし昨今の世界的経済不況により運営が危機的状況でございます。この意義ある音楽祭の持続的な発展のために、フレンズの皆様には引き続き暖かいご支援を賜りたく、本年度の継続をお願い申し上げます。また、お知り合いの方々にもご入会をお誘いいただければ幸いです。ご入会はホームページからもお申し込みいただけます。

(<http://www.youngpraha.jp/>)

ヤング・プラハ・フレンズの皆様には、年一回東京で開催される国際音楽祭ヤング・プラハin Tokyoコンサートにご招待させていただきます。また活動の様子をご報告する会報をお送りしております。



国際音楽祭ヤング・プラハ通信

一般社団法人国際音楽祭ヤング・プラハ
事務局: 〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町 558-1-102
Phone: 090-5773-3122 安東 / 080-4330-5211 橋本
Fax: 04-2994-2466
Email: office@youngpraha.jp Web: <http://www.youngpraha.jp/>

第 26 号

2017 年 11 月 11 日 発行



第 26 回国際音楽祭<ヤング・プラハ>は今年も多くの方々を支えていただき大成功裏に終了できましたことをご報告させていただきます。音楽祭を開催するにあたりお世話になりましたすべての皆様に御礼申し上げますと共に心より感謝致しております。

9月7日ワルトシュタイン宮殿ホールでのオープニングコンサートから9月24日のドヴォジャークホールでのクロージングコンサートまでの18日間に渡り、14回のコンサートが開催されました。世界8カ国からソリスト、金管アンサンブル、ピアノデュオ等計25名の出演者の皆様がそれぞれに大きな期待を持ちながらベストコンディションでチェコ入りされ各自の音楽の世界を最大限に発揮した演奏会を繰り広げて下さいました。

年々ヤング・プラハのファンの方も増え、各会場満席の状態です。ステージに現れる若い演奏家をワクワクしながら待たれている様子が伝わってきました。プラハでの演奏会は合計7回ありましたが、皆勤賞の方も毎年多くいらっしゃり、連日演奏会場でお会いするので『まあ！随分久しぶりね！』とニコニコしながら冗談が出てくるほどです。どの演奏会も終演後はお客様がとても幸せな笑みと共に『ありがとう！』と声をかけて下さり、若い演奏家の皆さんも演奏後に何とも言えない満足感がある素敵な表情をされています。この瞬間に長期間に渡る準備の疲れもどこかへ飛んで行き、クロージングコンサート後に『また来年も楽しみにしています！』という言葉をいただくと、くさて、さらに充実した音楽祭を目指して来年に向かって頑張ろうか！>という気持ちになります。

日本人出演者として、オープニングコンサートとドイツ・バッド シャンダウの演奏会で、イタリア在住日本人ピアニストの真下航さんが新鮮な解釈の爽やかなモーツァルトとショパンをイタリアから運んできて下さりご披露くださいました。音楽を表現する時その人の本来のキャラクターは隠せないと言われますが、真下さんの演奏はまさにその通りでプラハ空港で初めて会った彼そのままの印象の演奏でした。

国際音楽祭ヤング・プラハチェコ実行委員会 フィンダ志保子



プラハにあるポーランド大使館とリトミシュルではヴァイオリンの辻彩奈さんがドヴォジャークの4つのロマンティックな小品他を演奏してくださいました。ポーランド大使、日本大使を始め沢山の観客の前で自然体で美しく、しかし堂々とした演奏ぶりに会場は魅了されました。

リトムニェジツエ、プラハ日本人学校でのリサイタル、そしてクロージングコンサートでオーケストラとモーツァルトのピアノ協奏曲ト長調を共演してくださいました稲垣拓己さんは電車好きな16歳の高校生。非常に丁寧に且つとても幸せそうにオーケストラとの共演を楽しんで下さっている様子が伝わってくる演奏で、コンサート最初から会場を幸せな雰囲気作り上げて下さり、続いてステージにはフランスからのオーボエのMoreauさん登場。パリで勉強したチェコ人作曲家マルティヌーのオーボエ協奏曲、その特徴をしっかり把握し彼女の世界で表現している期待通りの見事な演奏でした。

ハンガリーからのソプラノのFürjesさんがなかなかチェコでも聴くことができないコダーイの作品を披露。会場は一瞬ハンガリー色になりました。そしてクロージング最後はチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を今年のプラハの春国際コンクールにて若干14歳で第3位に入賞されたアメリカからのHana Changさん(お母様は日本人)が素晴らしい演奏で締めくくって下さいました。彼女が持つ魅力的な音色と音楽性は今後非常に楽しみに応援して行きたいと思います。

他にも全ての演奏会についてお伝えしたい気持ちでいっぱいですが、これでチェコからのご報告とさせていただきます。今年は日本から応援下さった岩崎会長と日本委員会の皆様、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝を込めて。

今年は、9月7日から9月24日にわたって、プラハとチェコ各都市等で演奏会が開催されました。



オープニングコンサート in
ワルトシュタイン宮殿



ヤナデイレ音楽院ホール



ファイナルコンサート in ドヴォジャークホール

稲垣 拓己 <ファイナルコンサート 他に出演>

ファイナルコンサートを含むヤング・プラハの3回の公演に出演させていただき、ご推薦くださった岩崎淑先生をはじめ、ヤング・プラハの皆様にお礼方々ご報告いたします。

リトムニェジツエ/マーハ劇場。ここから僕のヤング・プラハはスタートしました。お客様に喜んでもらいたい一心でとにかく感情をこめて精一杯演奏しました。小学生のころからの夢だったヤング・プラハでついにリサイタルができた喜びで無我夢中でした。最後のサン・サーンスのトッカータを弾き終えた瞬間、一斉に立ち上がり日本から来た無名の高校生ピアニストに対して何度も拍手とブラボーをくれたお客様の光景が、今でもはっきりと目に焼き付いています。言葉は通じなくても、音楽を通じて思いが伝わった瞬間を一生忘れません！

翌日はプラハ日本人学校コンサート。僕にとっては不慣れなトークコンサートでしたが、半年前まで中学生だった僕を、同年代の演奏者として全校で大歓迎してくれました。小学1年生の小さい子から中学生までのみんなが最後まで一生懸命に聴いてくれたことはとても励みになりました。

プラハ日本人学校で14歳のヴァイオリニスト Hana Chang さんと共演できたことも楽しく、かけがえない経験でした。



大使ご夫妻、Hana Chang さんと

彼女とはファイナルコンサートでも会いましたが、お互いに同じ思いだったことがわかり、いつかどこかで再び共演することを約束して別れました。

ファイナルコンサートではモーツァルトを演奏しました。プラハはモーツァルトが好んで滞在し、何度も演奏した町であるを知り、モーツァルトのピアノ協奏曲の中で僕が最も美しいと思う第17番をどうしても弾いてみたいと思いました。プラハの美しい街並みと繊細で壮麗なドヴォジャークホールが曲のイメージと重なり、心をこめて演奏しました。

オーケストラの奏者から「Beautiful Mozart!」と話しかけていただいたときは、本当にうれしかったです。

国籍や楽器を越えた音楽仲間との交流。ヤング・プラハでのすべてが勉強になりました。この活動を支えてくださっている方々に感謝し、ご期待にこたえられるようこれからも精進していきます。



東京音楽大学付属高等学校在学中
ピアニスト

辻 彩奈 <ポーランド大使館 他に出演>

この度は国際音楽祭ヤング・プラハに出演させていただき、ありがとうございました。プラハのポーランド大使館と、リトミシュルのスメタナ劇場で演奏させていただきました。

私はチェコに行くのは今回が2回目でしたが、1回目はCDのレコーディングでプラハの隣のパルドビツェという小さな街に行ったので、プラハに来るのは初めてでした。

プラハのポーランド大使館では、天井が高く響きがとても良い素晴らしいホールで演奏させていただき、日本では絶対にできない経験ができてとても感動しました。ポーランド大使や在チェコ日本大使、またプラハにお住いのたくさんの日本人の方々やチェコ、ポーランドの方が聴きにいらしてくださり、こんなにたくさんの日本人が在住されていることにとても驚きました。

リトミシュルはプラハとはまた違った静かな街でこちらも素晴らしいスメタナ劇場で弾かせていただいたこと、



ポーランド大使館ホールにて

真下 航 <オープニングコンサートに出演>

まずは、「国際音楽祭ヤング・プラハ」へ招待いただき、参加できたことに深く感謝します。

ポロニア空港から中型のプロペラ機に揺られ2時間弱、初めてのプラハは少し重ための空模様で僕を迎えました。落ち着いた壁色で大きく建ち並ぶ家々や、さっぱりと整頓された道。ラテン圏外の経験がない自分はある種の味わい深さを感じ、どこかゆったりとしたその街の時間に魅了されたのを覚えています。

オープニングコンサートでのワルトシュタイン宮殿は、どこを見ても美しい装飾と光で満ち、さらにその高い天井に音楽が響いた幸福感は素晴らしく、自分の人生で忘れられない瞬間となることでしょう。翌日は国境を越え、ドイツのバッドシャングアウに。エルベ川のとおりで街をまっすぐに見守るその教会では、前日から一緒に居るハンガリーの二人組と演奏会を。三人に贈られ続ける暖かな拍手の中、僕のヤング・プラハは幕を閉じました。今回、自分のイタリアンな演奏がプラハ、そしてバッドシャングアウの人々に受け入れてもらえるか、という演奏前の心配を吹き飛ばす温かい聴衆の方々に



イモラ国際ピアノアカデミー(イタリア)在学中
ピアニスト

幸せな経験でした。また、二度のコンサートで素晴らしいピアノを弾いてくださったミロスラフ・セクラさんや、同じコンサートに出演していた演奏家の方々と新しい出会いもありました。そして今回のコンサートでは、チェコ、そしてポーランド大使館ということで、ドヴォジャークやショパンなどを演奏しました。ドヴォジャークを演奏すればチェコの方々が微笑み、ショパンを演奏すればポーランドの方々が微笑んでいらっやいました。それを見て、音楽に国境はなく、国境を越えて全ての方の心に届くのだ、ということを実感しました。実行委員会の方々、現地でお世話になった方々、そして聴きにきてくださったお客様に、素晴らしい経験をさせていただいたことを心から感謝申し上げます。これを糧にこれからもさらに精進を重ねていきたいと思ひます。ありがとうございました。

東京音楽大学在学中
ヴァイオリニスト